

公園施設の長寿命化計画策定

テーマ	国土強靱化、長寿命化計画、健全度調査、アセットマネジメント、ライフサイクルコスト
キーワード	都市公園、自然公園、国民公園、インフラマネジメント

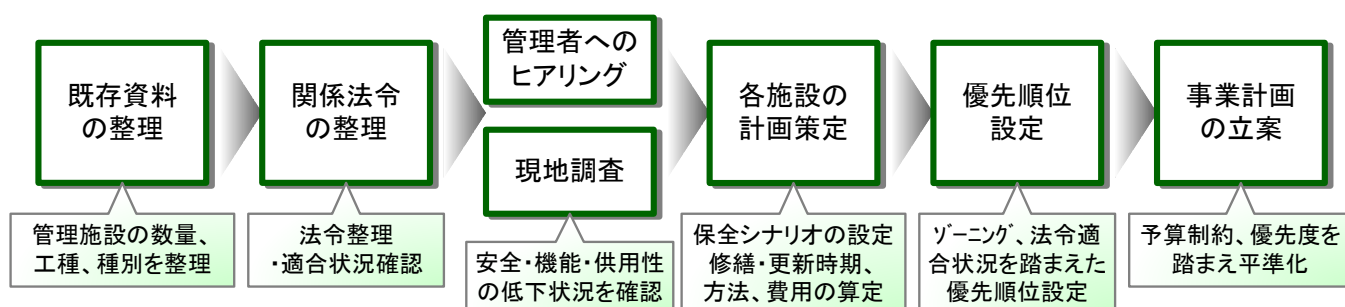
公園施設の維持管理平準化に向けて

都市公園、国民公園や自然公園内などの公園施設においては、利用者ニーズの多様化等への対応、施設の安全確保や耐震化、バリアフリー化といった法令対応、大量整備された施設の更新期が迫るなど、対応すべき維持管理・更新に係る課題を有しています。さらに、公共事業費が削減されている中、インバウンド対応を含む公園緑地の新規整備を進める一方で、今後、膨大な公園施設の集中的な修繕・更新を行う必要が生じており、これまで以上に効率的・計画的な公園施設の管理・運営が求められています。

そこで当社では、公園施設に対する法令適合状況や利用者ニーズ、劣化状態や供用状況等を総合的に把握・評価したうえで、修繕・更新の優先度評価を行い、今後の予算規模にも応じた、計画的に平準化された維持管理・更新の事業計画を提案します。

長寿命化計画策定に向けた手順

ひとつの公園（エリア）、あるいは複数の公園（エリア）について、基礎データ整理から事業計画に至るまで、専門技術者を投入しながら、総合的な評価・分析を行い、優先順位など納得性の高い予算執行を説明する事業計画を立案します。



提供サービスのポイント

【ポイント1】公園の抱える運営課題の的確な把握

- 各施設の専門技術者による現地調査を実施し、施設特性・劣化状態を的確に評価

【ポイント2】公園特性を反映した対策優先順位設定方法の構築

- 安全・機能・供用性に加え、利用状況や自然環境を総合的に捉え、公園を構成する全ての施設種別に適用可能な評価軸を設定し、維持管理・更新の優先度の評価

【ポイント3】予算制約のもとでの事業計画・予算計画の立案

- 耐用年数を踏まえつつ、利用者の安全確保、ニーズ対応など延命化と更新時期の総合的な判断による事業費の平準化の実現

日本工営株式会社

お問合せ

内容に関するご質問は、以下のページからお問い合わせ下さい。

URL <http://www.n-koei.co.jp/contact/>

実施フロー

公園施設の長寿命化計画策定の基本的な流れは、以下のとおりです。

現況把握・整理

各施設の専門技術者による健全度調査を実施し、施設特性・劣化状態の的確な評価

- 調査カルテを作成し、現地調査結果を今後の管理台帳にも活用
- 施設の劣化による安全性・機能性・供用性の低下状況を施設種別間で相互に比較評価が可能な共通の指標で評価

施設の維持管理・更新に係る法令・基準等を整理し、現状施設との適合状況を確認
関係法令・基準例：高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 など

優先順位の設定

利用状況や自然環境に応じた公園のゾーニング

- 公園を利用状況や自然環境に応じてゾーニング
- 各々のゾーンに対し、施設やエリアの利用状況、保全すべき自然環境について評価
- 利用状況、自然環境に基づき施設整備の優先度を評価

ゾーン	利用状況	自然環境	施設整備優先度
①	A	C	A
②	A	B	B
③	C	A	C
④	B	A	B

凡例：A 高い B 中位 C 低い

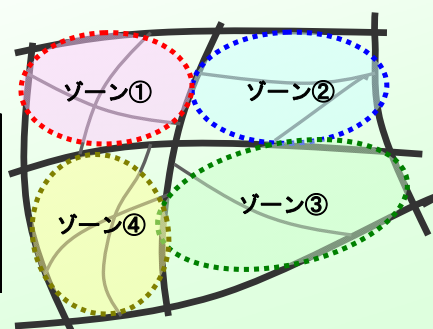


図 ゾーニングと施設整備優先度評価イメージ

事業計画の立案

各施設の優先度、予算執行状況を踏まえた予算シナリオの設定、事業費の平準化

- 現況の予算執行状況（年度別予算規模）を踏まえ、将来の予算シナリオの設定
- 予算シナリオ・各施設の優先度を踏まえた上で、予算の平準化の実現

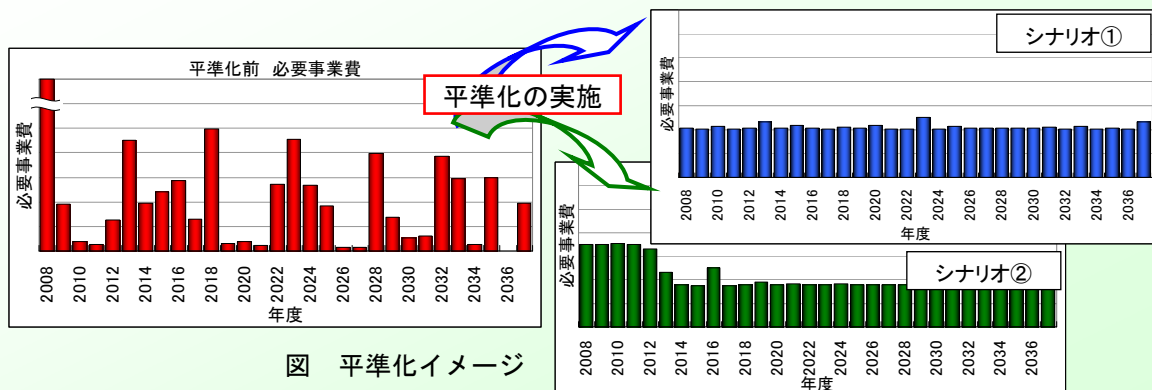


図 平準化イメージ

関連業務の実績

【国営公園（国土交通省）】

昭和記念公園、武蔵丘陵森林公園、東京臨海広域防災公園、常陸海浜公園、飛鳥・平城宮跡歴史公園、備北丘陵公園、海の中道海浜公園、沖縄記念公園

【国立公園等（環境省）】

北海道地方環境事務所
管内国立公園、日光国立公園、新宿御苑

